

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 5 日現在

機関番号：23803

研究種目：13

研究期間：2008 年度～2011 年度

課題番号：20720005

研究課題名（和文） 日本における「死者」の観念をめぐる倫理思想史的研究～神仏観念との関わりを中心に～

研究課題名（英文） Study of the idea of “the dead” from a viewpoint of Japanese history of ethical thoughts

研究代表者

吉田 真樹 (YOSHIDA MASAKI)

静岡県立大学・国際関係学部・准教授

研究者番号：20381733

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・倫理学

キーワード：死者、霊魂、死、日本、倫理、神、仏

1. 研究計画の概要

日本の古代・中世・近世・近代それぞれの時代において、①「神」の思想、②「仏」の思想、③「庶民」の思想のうちから代表的なテキスト（及びその周辺資料）を選び読解することによって、日本における「死者」の観念を具体的に浮き彫りにしてゆく。その際に、テキスト読解だけでは知り得ない部分を補うため、④テキストに関わる寺社・霊場・墳墓等の現地調査（景観調査・神体仏像調査・資料調査）を並行して行う。以上をふまえ、年度ごとに各時代の「死者」イメージについて小括を行い、最終年度にそれらの成果を総合して、「死者」についての通史を構築する。

2. 研究の進捗状況

全体として、年度ごとに記した研究計画の順番が前後したことがあるが、通史構築をめざす研究として、複数の対象を行きつ戻りつする方法論をとっているため、ある程度の順番の前後は不可避であったと自己評価する。

以上をふまえた上で、具体的に研究課題に即していえば、2008 年度の研究課題「古代日本の「死者」」については、上記の①②③④を行った。①の『古事記』研究の成果は、2011 年の佐藤正英の原著をふまえて改めて練り直し口頭発表するなどして、現在原稿化の準備を進めている。②の『日本霊異記』研究の成果は、論文「『日本霊異記』冒頭話の孕むもの（下）」として公刊した。③の『万葉集』研究は論文の原型を作成した。

2009 年度の研究課題「中世日本の「死者」」については、上記の②④を行った。②の課題が予想より困難であったため、①③の研究は

断念した。②の『源氏物語』研究の成果については、今年度論文を公刊する予定である（仮題「『源氏物語』の霊魂」）。

2010 年度の研究課題「近世日本の「死者」」については、①②③④を行った。①の国学研究、②の仏教研究、③の近世芸能研究については、まとめて著書『平田篤胤—霊魂のゆくえ』として公刊した。また②及び③について論文「近世庶民仏教思想と和辻思想史図式の捉え直し（上）」を公刊した。著書については学会賞を受賞し一定の評価を受けた。

2011 年度の研究課題である「近代日本の「死者」及び成果の総括」については、着手した段階にある。個別の課題としては③の柳田國男から着手している。総括については、先に記したように古代の①、中世の②から始めている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

研究課題「古代日本の「死者」」については 100%、研究課題「中世日本の「死者」」については 60%、研究課題「近世日本の「死者」」については 150%、平均して 100%以上の達成度といえる。

4. 今後の研究の推進方策

計画通りに行うが、そのうち「成果の総括」の部分に関しては十分な時間をかけて、これまでの個別の成果を振り返り、通史構築にむけて捉え直し深化させて再編成する予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

①吉田真樹、「近世庶民仏教思想と和辻思想史図式の捉え直し(上)」、『思想史研究』、査読無、12号、2010年、pp. 1-11。

②吉田真樹、「『日本霊異記』冒頭話の孕むもの(下)」、『思想史研究』、査読無、11号、2010年、pp. 1-9。

[学会発表] (計2件)

①吉田真樹、「『霊の真柱』における天・地・泉一死の空間の近代化」、日本思想史学会2008年度大会パネルセッション「日中韓における洋学の伝来と「天」観念の変容」、2008年10月19日、愛知教育大学。

②吉田真樹、「平田篤胤對於「死」的空間之論述—與「天」・「地」・「泉」的關係(陳昭心訳。日本語標題「平田篤胤における「死」の空間—「天」・「地」・「泉」との関わりにおいて)」、國際學術研討會「天、自然與空間」(日本「東亞的文明衝突與“天”觀念的演變」研究班・國立清華大學人文社會研究中心・國立臺灣大學中國文學系共催)、2008年9月25日、台湾大学。

[図書] (計1件)

①吉田真樹、講談社、『平田篤胤—靈魂のゆくえ』、2009年、275ページ(日本倫理学会より和辻賞〔著作部門〕受賞)。